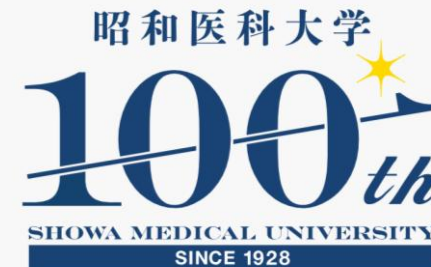




2026年度 Aプログラム
協力型研修施設
歯科臨床研修医ガイド
2026/2/18



昭和医科大学病院 病院歯科

医科歯科連携による周術期口腔機能管理と口腔健康管理を
一緒に学んでみませんか

昭和医科大学病院 病院歯科

代表者: 山口 麻子

所在地: 〒142-8666 東京都品川区旗の台1-5-8

連絡先: 03-3784-8000(病院代表) 歯科: 03-3784-8640

URL : <http://www.showa-u.ac.jp/SUH/>

歯科医師臨床研修の基本理念

厚生労働省ホームページより

臨床研修は、歯科医師が、歯科医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、歯科医学及び歯科医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けることのできるものでなければならない。

プログラムA 昭和医科大学関連病院 病院歯科 対象患者と診療内容をご紹介します

昭和医科大学藤が丘病院
昭和医科大学江東豊洲病院
昭和医科大学横浜市北部病院

対象

- ①入院患者
- ②歯科診療所、内科診療所
からの紹介患者

診療内容

各病院ホームページをご参照ください

昭和医科大学病院

<http://www.showa-u.ac.jp/SUH/>

対象：昭和医科大学病院・附属東病院の

新生児から終末期の入院患者

診療内容：診療科との医科歯科連携

周術期口腔機能管理

口腔健康管理

近隣からの

病院歯科外来、入院は受けておりません

入院前～退院後のADL・QOLを考慮した治療方針立案と 早期歯科介入が患者さんの早期退院につながります

全身麻酔下での手術3日前に診療科から依頼
かかりつけ歯科なし



顎骨壊死疑いで依頼
BP製剤、抗がん剤デノスマブ使用中
半年前に放射線療法

化学療法による
有害事象(軽度)



「口から出血が止まらない！」救急車で救急外来受診
1年以上、義歯外していなかった。

VAP
栄養管理
気管挿管時の有害事象



臍帯血移植前に
感染源除去目的で抜歯
まずは、ひと安心！

周術期口腔機能管理により予防できることが期待される口腔由来の合併症

全身麻酔時	人工呼吸器関連肺炎(VAP)
がん手術	手術部位感染(SSI) 術後肺炎(誤嚥性肺炎)
がん放射線治療	口内炎(口腔粘膜炎) 放射線性顎骨壊死(ORN)
がん化学療法	菌性感染症に起因する全身性感染症 口内炎(口腔粘膜炎) 薬剤関連顎骨壊死(MRONJ): 骨修飾薬(ビスフォスフォネート製剤 抗RANKL抗体など)
心臓手術	感染性心内膜炎(IE)
臓器移植手術	菌性感染症に起因する全身性感染症
緩和医療	終末期における口腔トラブル(口内炎、口腔乾燥など)
その他	挿管時、抜管時の動揺歯の脱落予防 QOLの維持向上、早期の経口摂取の支援

昭和医科大学病院 病院歯科の研修施設は、 昭和医科大学病院と昭和医科大学附属東病院です

昭和医科大学病院 815床



昭和医科大学附属東病院 199床



研修対象は、各診療科・施設の入院患者さん 診療の場は、歯科室・一般病棟・特別診療施設

昭和医科大学病院 815床

診療科目	呼吸器・アレルギー内科、リウマチ・膠原病内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、腎臓内科、消化器内科、血液内科、循環器内科、神経内科、腫瘍内科、救急診療科、感染症内科、緩和医療科、精神神経科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児心臓血管外科、消化器・一般外科、食道外科、乳腺外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、形成外科、産婦人科、眼科、小児科、小児循環器内科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、救命救急科、臨床病理診断科、東洋医学科、病院歯科、歯科麻酔科
特別診療施設	総合周産期母子医療センター(NICU・MFICU)、小児医療センター、小児循環器・成人先天性心疾患センター、血液浄化センター、救急医療センター(救急センター・救命救急センター)、脊椎外科センター、ICU、CCU、HCU、リハビリテーションセンター、中央手術室、緩和ケアセンター、褥瘡ケアセンター、腫瘍センター、プレストセンター、頭頸部腫瘍センター、輸血センター、超音波センター、内視鏡センター、てんかん診療センター、放射線治療センター、腎移植センター、漢方外来、食道がんセンター

昭和医科大学附属東病院 199床

診療科目	糖尿病・代謝・内分泌内科 呼吸器・アレルギー内科 脳神経内科 精神神経科 整形外科 眼科 麻酔科(ペインクリニック)
特別診療施設	睡眠医療センター 呼吸ケアセンター

研修の特色

- ① 入院患者の口腔環境のアセスメント、診断、周術期等口腔機能管理、口腔健康管理が術後感染・肺炎予防、口腔の有害事象(気管内挿管時の歯や粘膜損傷・口内炎)予防となり、入院期間・抗菌薬投与期間の短縮、さらに術後の早期経口摂取などにつながることを学び、新たな感染症COVID-19を踏まえた病院歯科、一般歯科それぞれの役割を理解し、将来その橋渡しとなり、地域包括ケアの中で活躍するための基礎を習得
- ② 歯科外来、集中治療室(ICU,CCU、HCU)、一般病棟(無菌室を含む)、救急救命センターそれぞれの診療の場で全身管理を必要とする多様な疾患や背景を有する患者の歯科診療技術を習得
- ③ チーム医療における緊密な連携能力と安全な医療・歯科医療を行うために必要な医療安全・感染予防に関する基本的技能を習得

主な診療内容

- ①がん患者(手術、移植、化学療法、放射線療法、緩和ケア)、脳卒中の手術・心臓手術・臓器移植手術・人工股関節置換術の患者、その他の入院患者の動揺歯の誤飲・誤嚥、口腔感染症による手術後の創感染、人工呼吸器関連肺炎、感染性心内膜炎、口腔粘膜炎、誤嚥性肺炎などのリスク評価と予防のため周術期等口腔機能管理※、口腔健康管理
- ②骨吸収抑制剤、免疫抑制剤による治療開始前、開始後の顎骨壊死および感染リスク評価および管理
- ③気管内挿管時の歯や粘膜損傷などの有害事象リスクの評価および管理としての動揺歯の抜歯・暫間固定・マウスガード作成

※口腔機能管理 : 歯周治療、う蝕治療、補綴治療、抜歯、粘膜疾患、顎骨骨折・軟組織裂傷などの外傷処置、顎間固定用プレート作成など

研修日程

週5日勤務 8:30-12:00, 13:00-17:00

	指導者	研修場所	研修内容(毎週末レポート提出)
月	伊佐津、山口	歯科室(中央棟7階) 集中治療室 (ICU,CCU、HCU) 一般病棟 (無菌室を含む) 救急救命センター 血液浄化センター	周術期口腔機能管理 (手術・化学療法・放射線療法・緩和ケア) および 口腔健康管理 (急性期から慢性期)における * チーム医療の考え方 * 目的と評価および管理 * 退院時の指導(クリティカルパスの活用) 医科の研修会への参加 歯科保険請求などに関する研修会参加 昭和医科大学歯学部 全身管理学講座 医科歯科連携歯科学部部門、 昭和医科大学歯学部の他講座における学術研修会への参加
火	伊佐津、砂川		
水	伊佐津、砂川、山口		
木	砂川、山口		
金	伊佐津、山口		
土	伊佐津、砂川、山口 いずれか1名		
日	休診日		

常勤: 歯科医師3名、歯科衛生士3名、クレーク1名

伊佐津歯科医師: 日本歯周病学会 専門医、臨床研修指導医

山口歯科医師: 日本老年歯科医学会 専門医、指導医 日本有病者歯科医療学会 専門医、臨床研修指導医

これから1年間、プログラムAでの研修を 考えている皆さんへ

私の尊敬する先生は、

「10年後にどこで何をしていたいか」を考え研修先を選択したそうです。

どこで研修するにしても、自身の心身を大切にしてください。臨床では、自己判断はせず、必ず指導医に報告、連絡、相談して進めてください。必ず守り、育み、導いてくれると思います。そして学ばせてくださる患者さん、同僚、一緒に働く多職種の方々、自身を支えてくれる誰かに感謝し、歯科診療に基本的に必要な態度、技能、知識、判断力、社会性、高い倫理観を身に付けることを目標として歩みを進めてください。

共に学べることと、研修医生活が実り多き日々になることを心より願っております。